



富士川の河川環境 —その現状と課題

山梨県漁業協同組合連合会
参 事 大浜秀規

ワークショップ「みんなで考える富士川流域の河川環境」
山梨県峡南地域の流域ガバナンスをめざして

令 和 4年 7月31日
身延町総合文化会館

早川

雨畠川

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

- 非常に多い土砂生産
- 水力発電による高度な利用
- 大きく成長するアユ

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

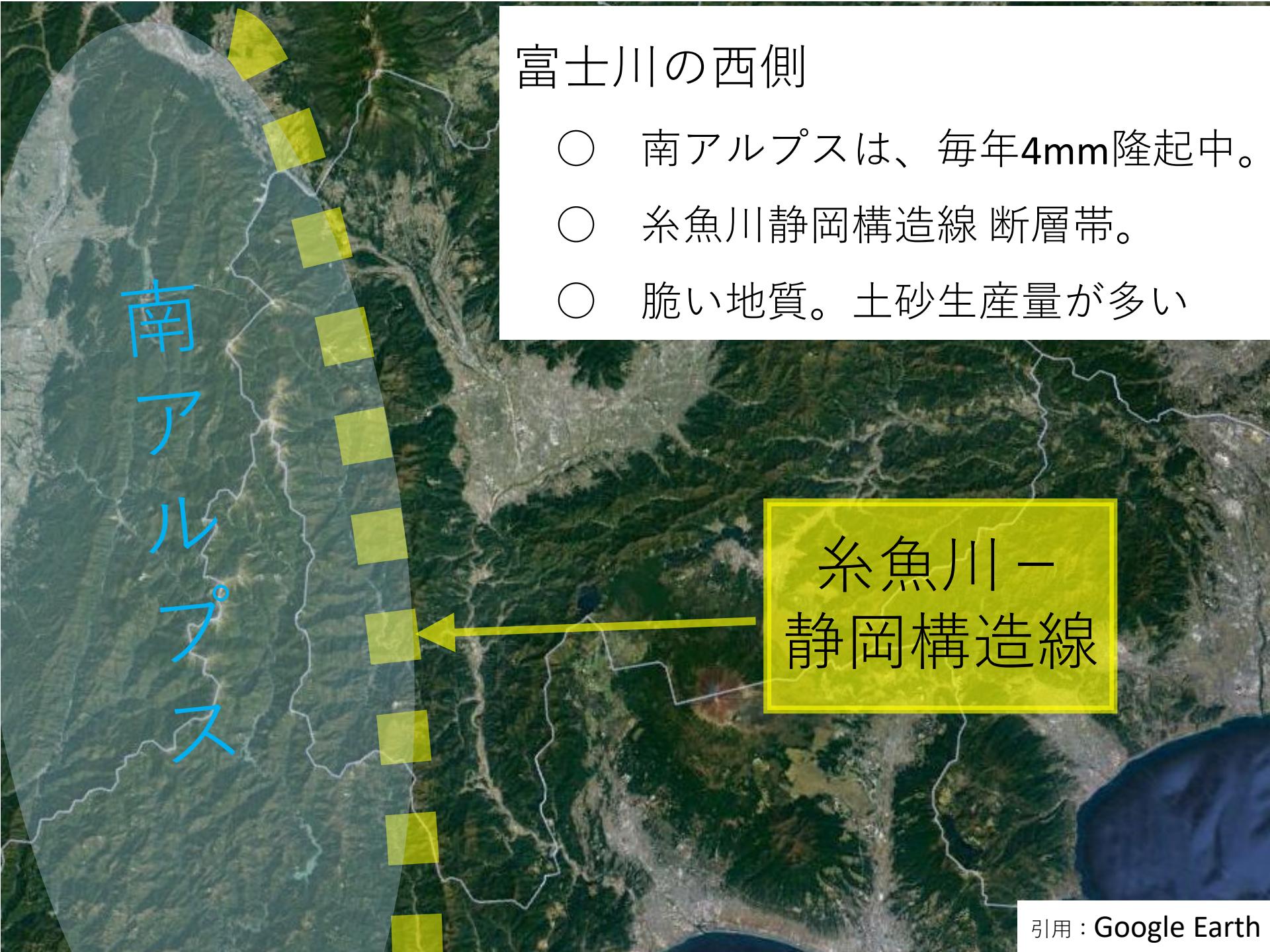


引用 : Google Earth



流域





富士川の西側

- 南アルプスは、毎年4mm隆起中。
- 糸魚川静岡構造線 断層帯。
- 脆い地質。土砂生産量が多い

糸魚川－
静岡構造線



神宮川、2003



- 土砂の流下量が多い
- 濁りやすい川
- 淵の無い川 = 釜無川

大武川、2011





八潮崩れ
長さ：1,600m
幅：180m
深さ：40m

2019（R1）年、新たに大規模崩落
現在の濁りに大きく関与

稻又谷川

Google Earth

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

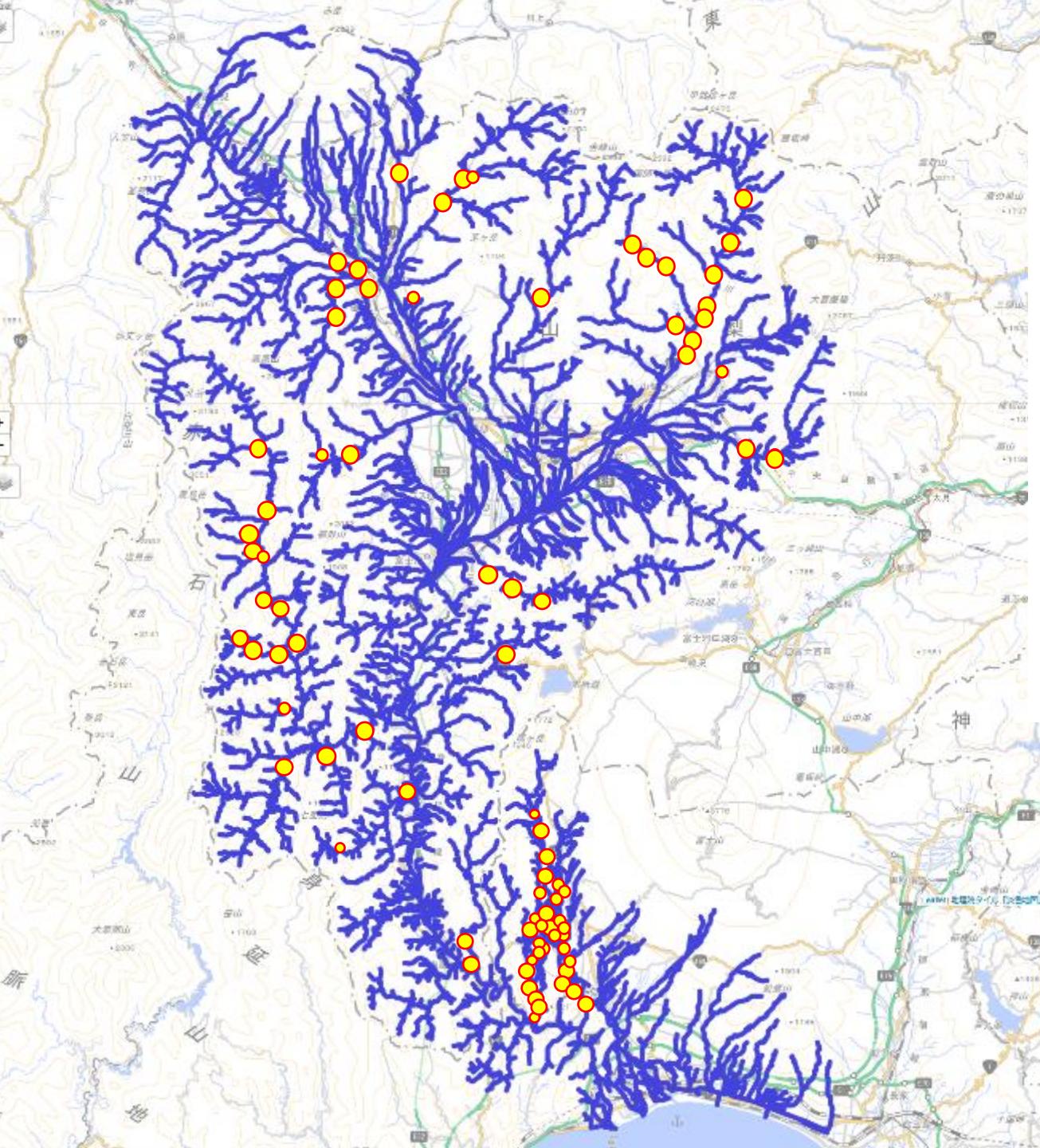
- 非常に多い土砂生産
- 水力発電による高度な利用
- 大きく成長するアユ

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

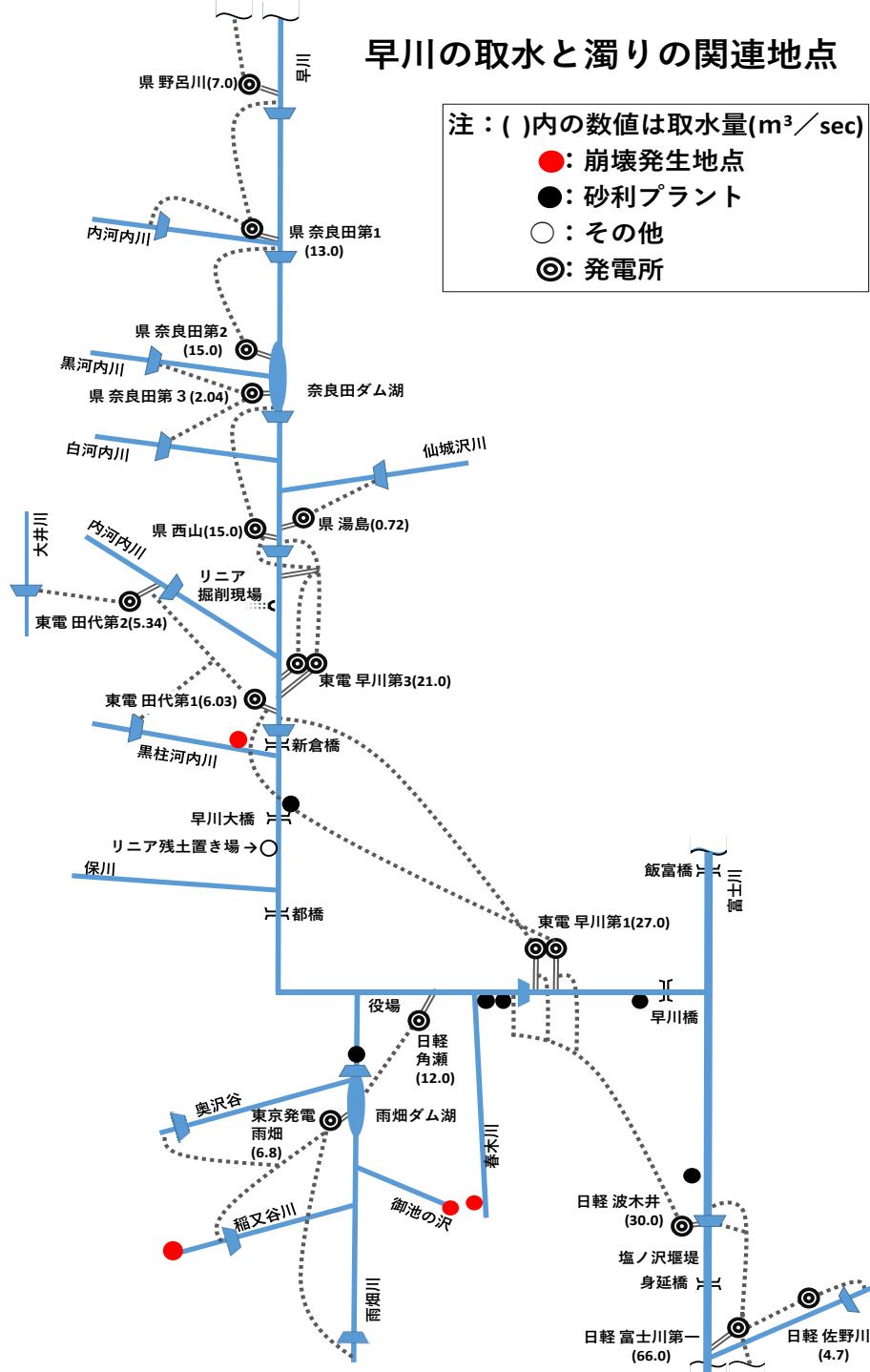
5 現在の状況と今後の課題



富士川水系における 水力発電所

- : 水力発電所
(57箇所)
- : 小水力発電所
(28箇所)

総出力 : 44万kw



- 富士川水系、特に早川は水力発電に高度利用。
- 早川流末の取水許可量は、 $30m^3/sec$ 、維持流量は $1m^3/sec$
- 富士川は河床勾配が海まで急なため、直接海へ放水。

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

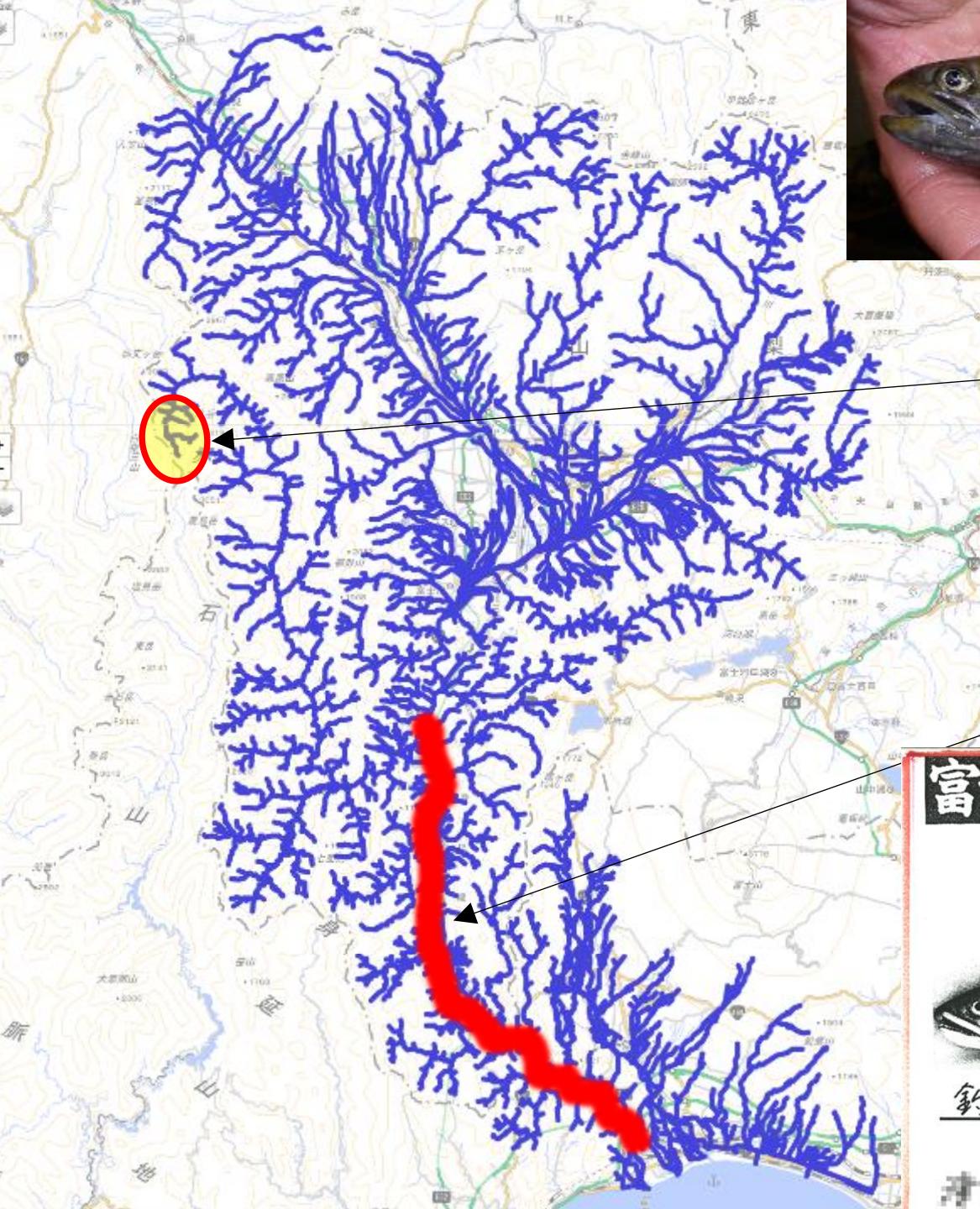
- 非常に多い土砂生産
- 水力発電による高度な利用
- 大きく成長するアユ

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題



ヤマトイワナ

希少なヤマトイワナの日本で2番目に高い生息地。

アユ

一尺(30.3cm)を超える
尺鮎が釣れる。

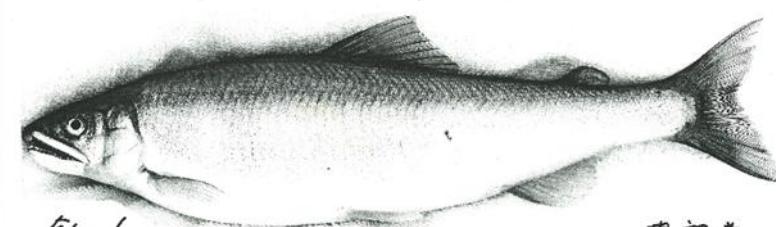
富士川

平成17年10月19日

釣場常葉川出合

体長 33cm

体重 430g



釣人

現記者

スポーツカーボン販売店(販売店)

富士の駒屋店

富士川

ダイワ大鮎コンテスト 入賞者発表！

A地区（北海道、本州ブロック）

順位	全長(cm)	釣った場所	氏名	住所	賞品
1	33.0	富士川	大木 吉夫	東京	ティンバーラインドームテント
2	32.5	富士川	平尾 幸一	東京	アイワCDラジカセ
3	32.0	富士川	望月 実	山梨	バーベキューコンロ
4	31.7	富士川	岩本 友次	神奈川	TDウォッチ
5	31.5	富士川	佐野 博	静岡	小川テントヘキサタープ

B地区（四国、九州ブロック）

順位	全長(cm)	釣った場所	氏名	住所	賞品
1	32.5	玖珠川	鈴木 宏美	大分	ティンバーラインドームテント
2	32.5	庄内川	長友 重年	宮崎	アイワCDラジカセ
3	32.0	玖珠川	小野 達美	大分	バーベキューコンロ
4	32.0	筑後川	足達 敏博	福岡	TDウォッチ
5	31.8	玖珠川	樋口 喬	大分	小川テントヘキサタープ



ダイワ精工(株)主催の「96ダイワ大鮎コンテスト」の入賞者が発表された。

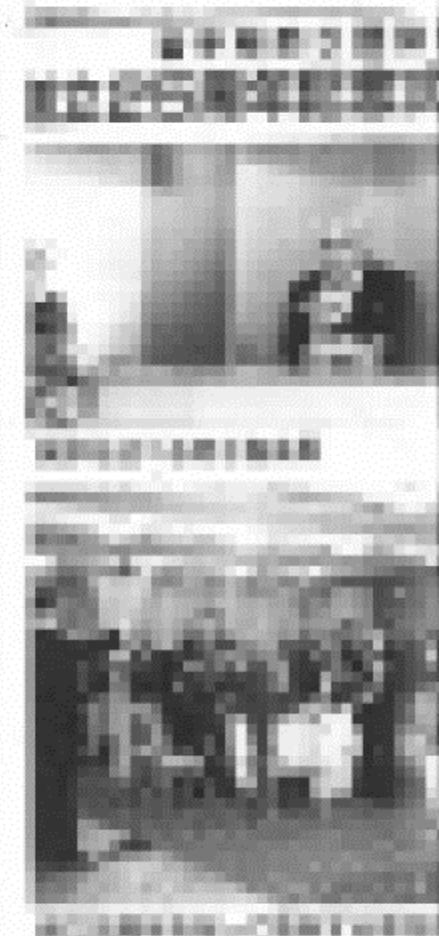
このコンテストは、釣ったアユの大きさを競うもので、50位までの入賞者はドーム型テントをはじめCDラジカセ、バーベキューコンロ、

タープ、双眼鏡などが、100位、150位、200位の人には飛び賞としてキャンピングストーブなどが贈られることで大鮎釣れまくり！

A地区（北海道、本州）とB地区（四国、九州）、それぞれの上位入賞者と大アユの

全長、釣り場などは別表のとおり。なお、同寸の場合は応募の早いものが上位。

●問合先 ダイワ精工(株) (804-2475-2103)





芦澤おとり店に掲示された魚拓

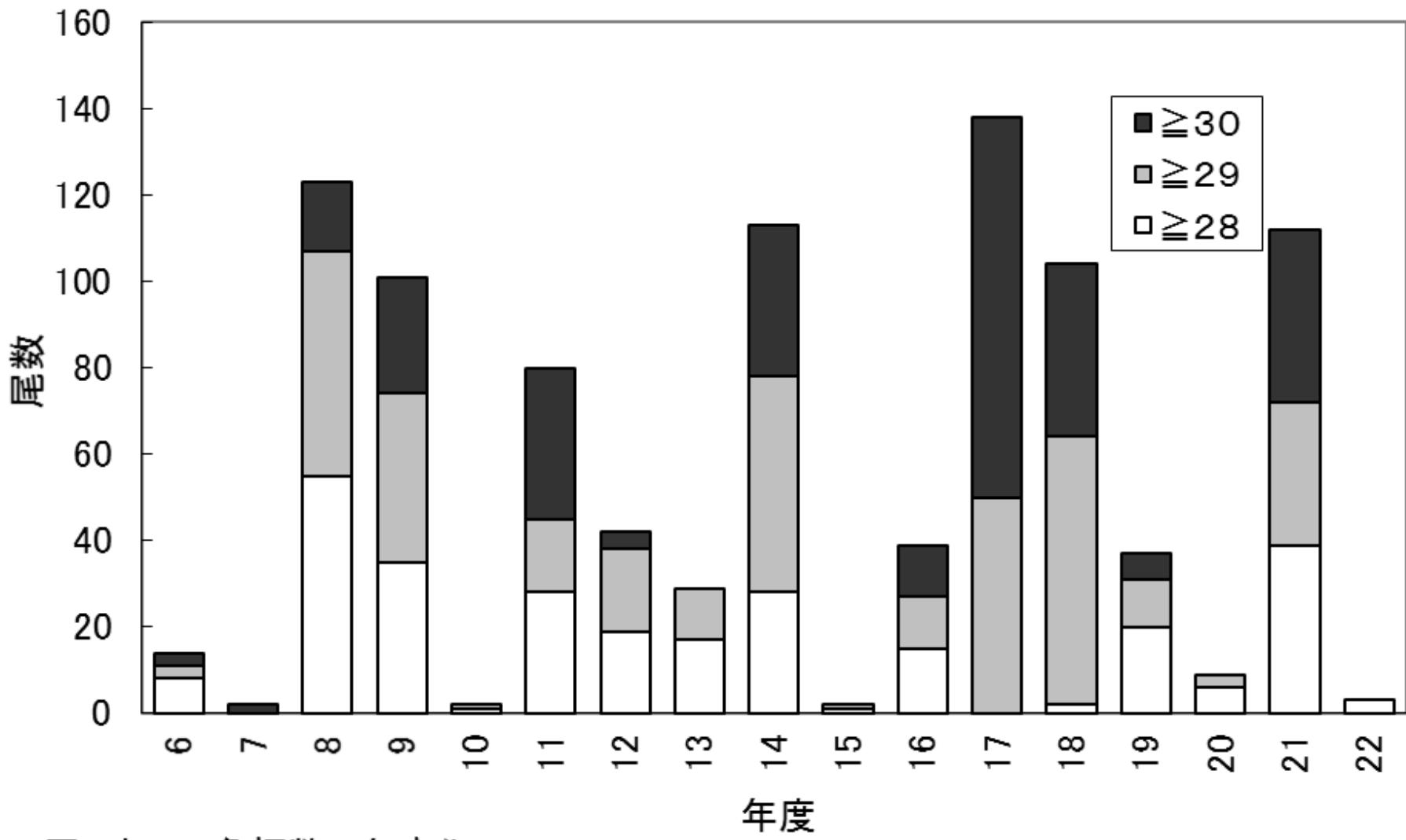


図 大アユ魚拓数の年変化

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

- アユ釣りの低迷
- 濁りの長期化

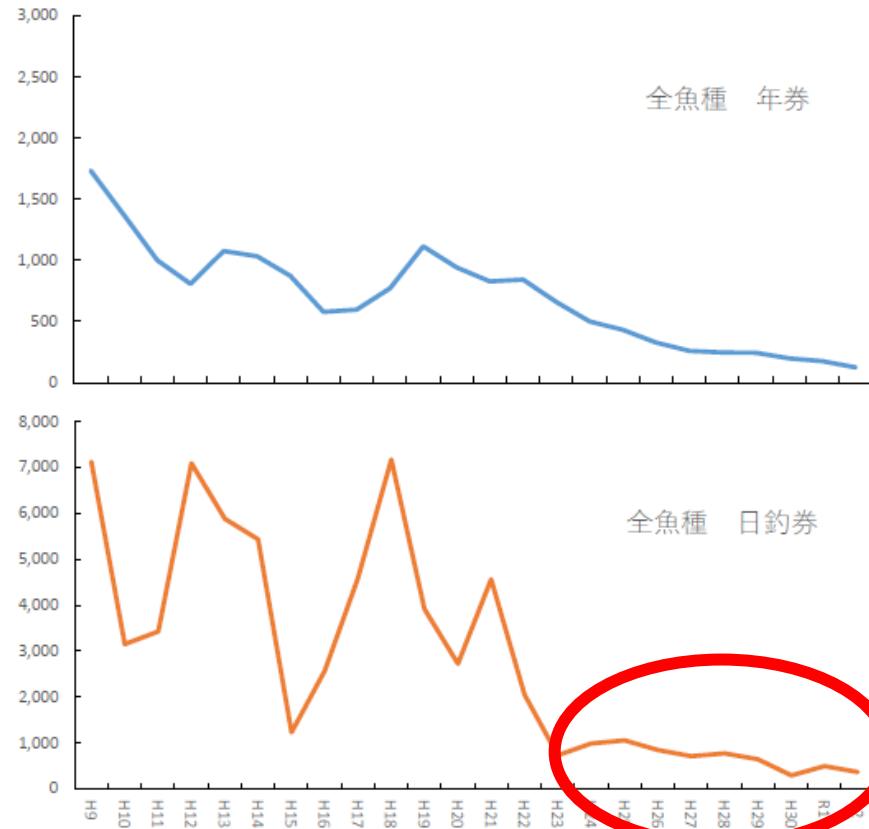
3 状況の把握

4 濁りへの対応

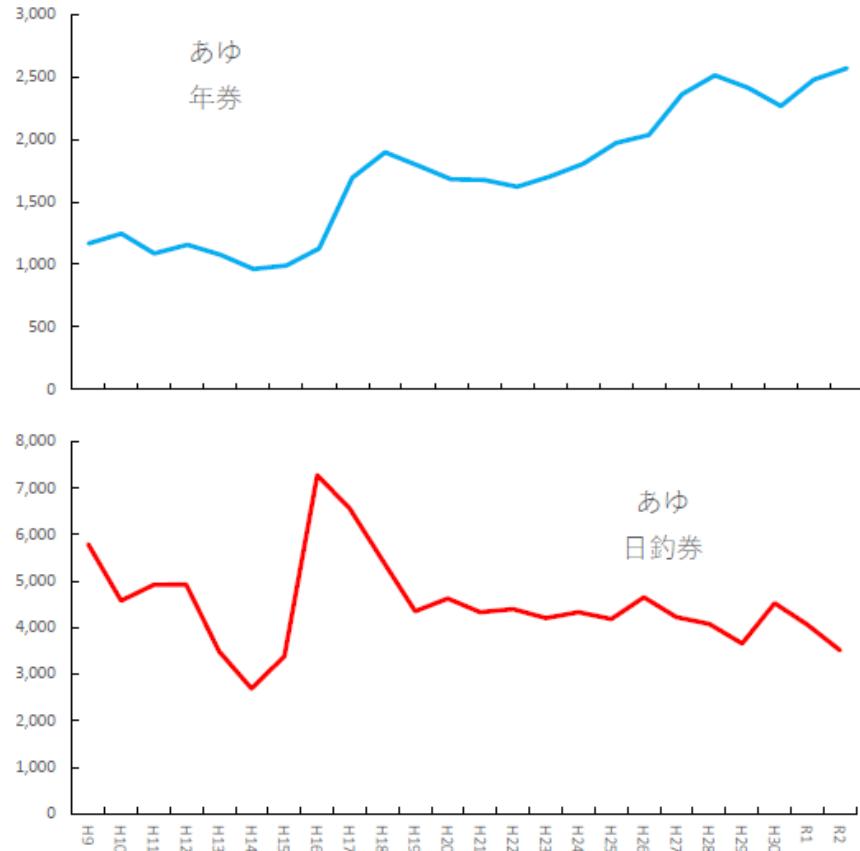
5 現在の状況と今後の課題



富士川漁協



桂川漁協



- アユ釣りは、カワウによる食害、冷水病の発生、河川環境の悪化により減少しているが、富士川漁協のH23年以降は極端に低くなっている。

早川から流入する濁り

早川

新早川橋

富士川

富山橋

中部横断道
下部温泉早川IC

2018/05/05

• 引用：Google Earth Pro

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

- アユ釣りの低迷
- 濁りの長期化

3 状況の把握

4 濁りへの対応

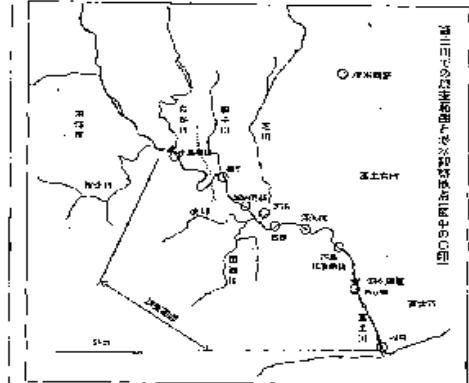
5 現在の状況と今後の課題

富士川の天然アユが危機 資源水準低く 異常な濁りで「アユが忌避するレベル」

天然アユを扱

調査事務所 河川環境調査し報告書

まず現状知らせる「広報」、シンポジウム



- ・異常なまでに魚類が少ない
- ・アユの生息数が著しく少ない
- ・濁水長期化と遡上阻害がアユに影響

静岡新聞の特集は、富士川の汚染問題について取り上げています。1月1日付の朝刊では、「蒲原に捨てる」灰色水と題して、雨畠ダム湖の土砂撤去開始が発覚したことを報じています。また、1月2日付の夕刊では、「サクラエビ異変」と題して、富士川の生態系が悪化していることを報じています。

「蒲原に捨てる」灰色水

サクラエビ異変

1

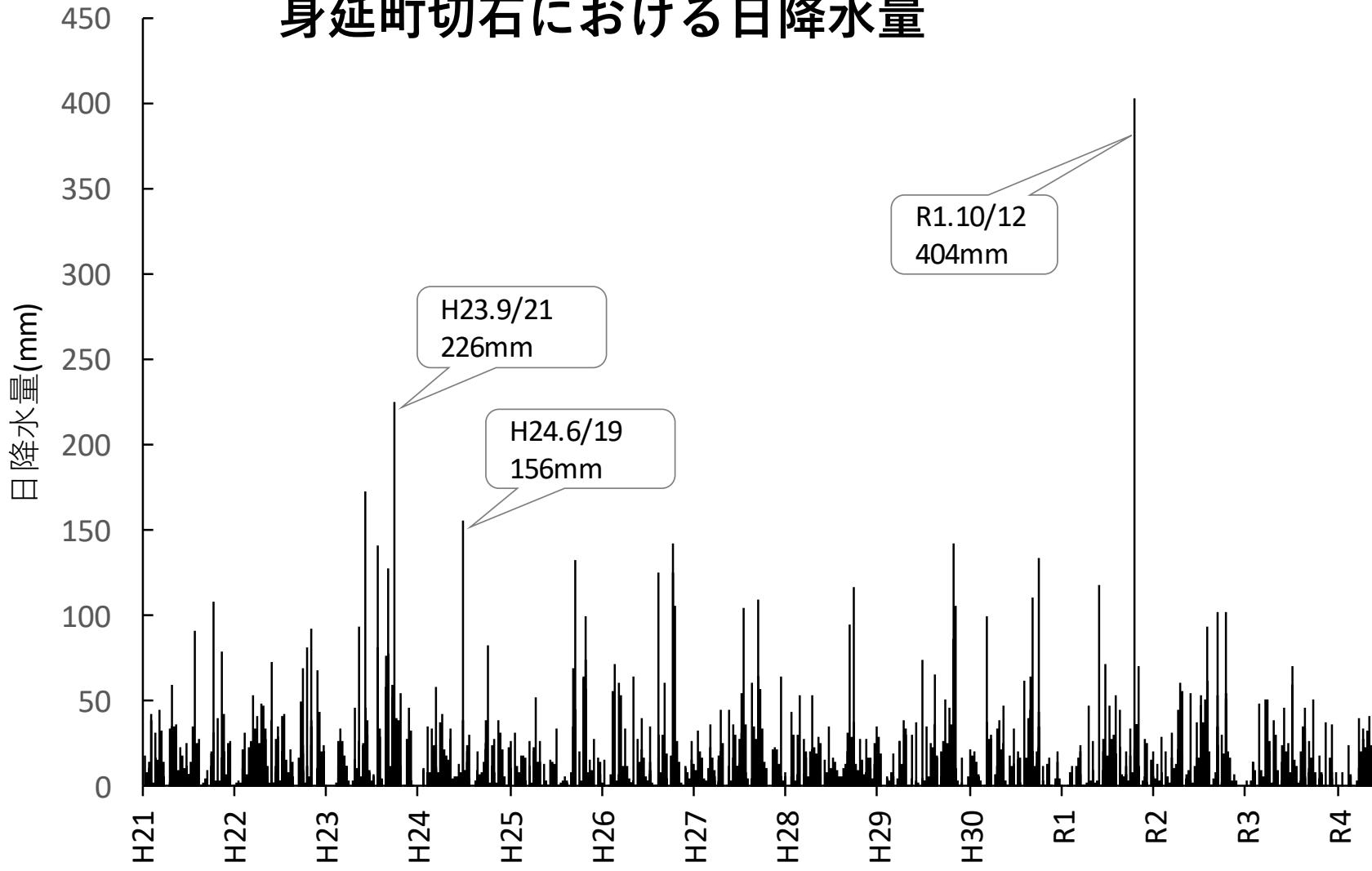
第1章 母なる富士川 ①



静岡新聞が特集を開始(H31)

- 雨畠川で砂利洗浄汚泥等の投棄が発覚(R1)
- 雨畠ダム湖の土砂撤去開始(R1)
- 砂利洗浄汚泥の凝集剤の毒性が問題視(R2)
- 凝集剤等の水質調査を開始(R3)
- 国が富士川の維持流量設定を回答(R4)

身延町切石における日降水量



○ 山腹崩壊による土石流の発生

H23 : 春木川・御池の沢、H24 : 御池の沢、R1 : 稲又谷川

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

- 濁りの発生状況
- 濁りの原因？

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

早川水系における濁りの状況

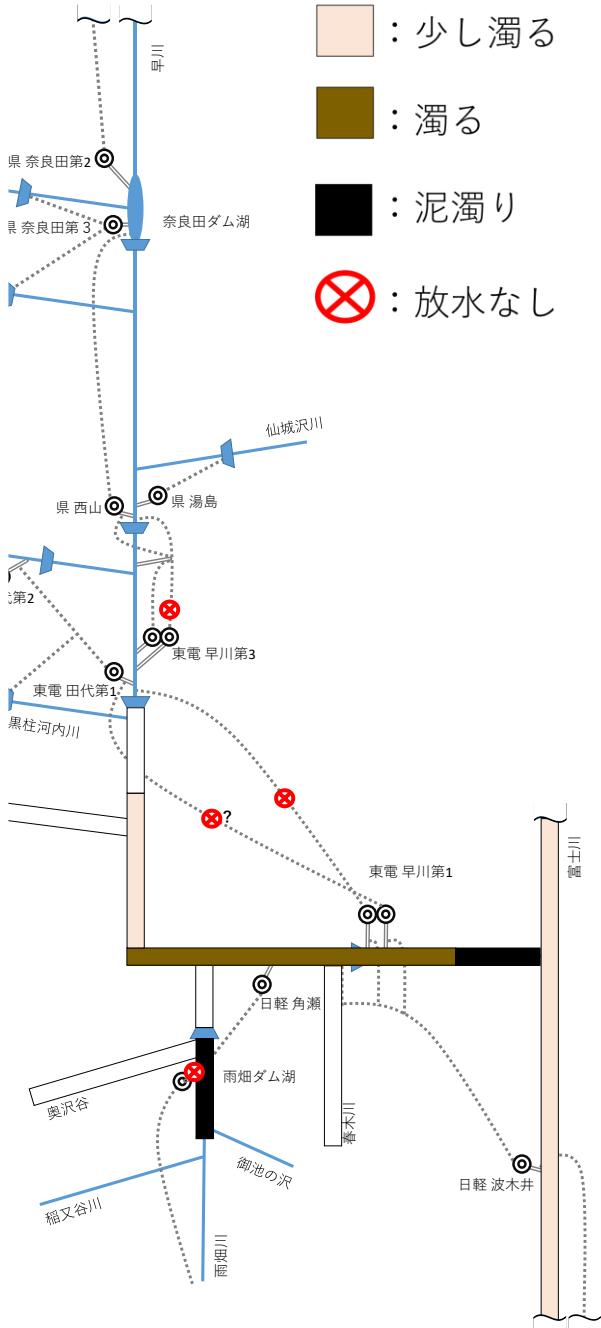
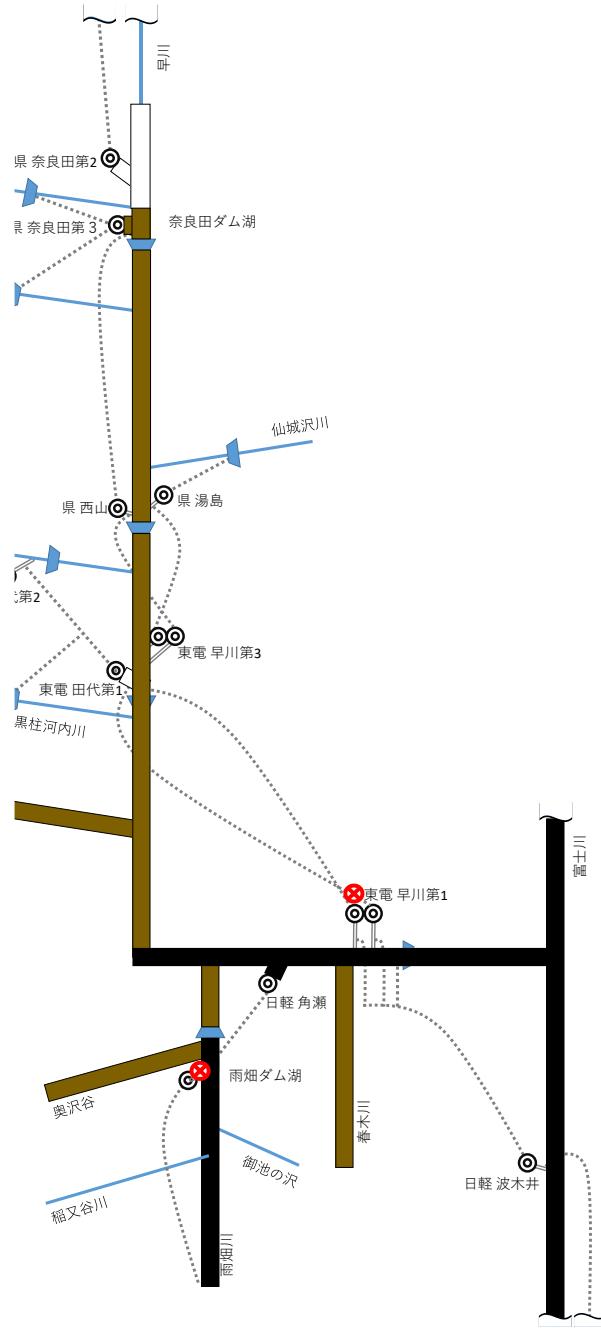
□ : 濁りなし

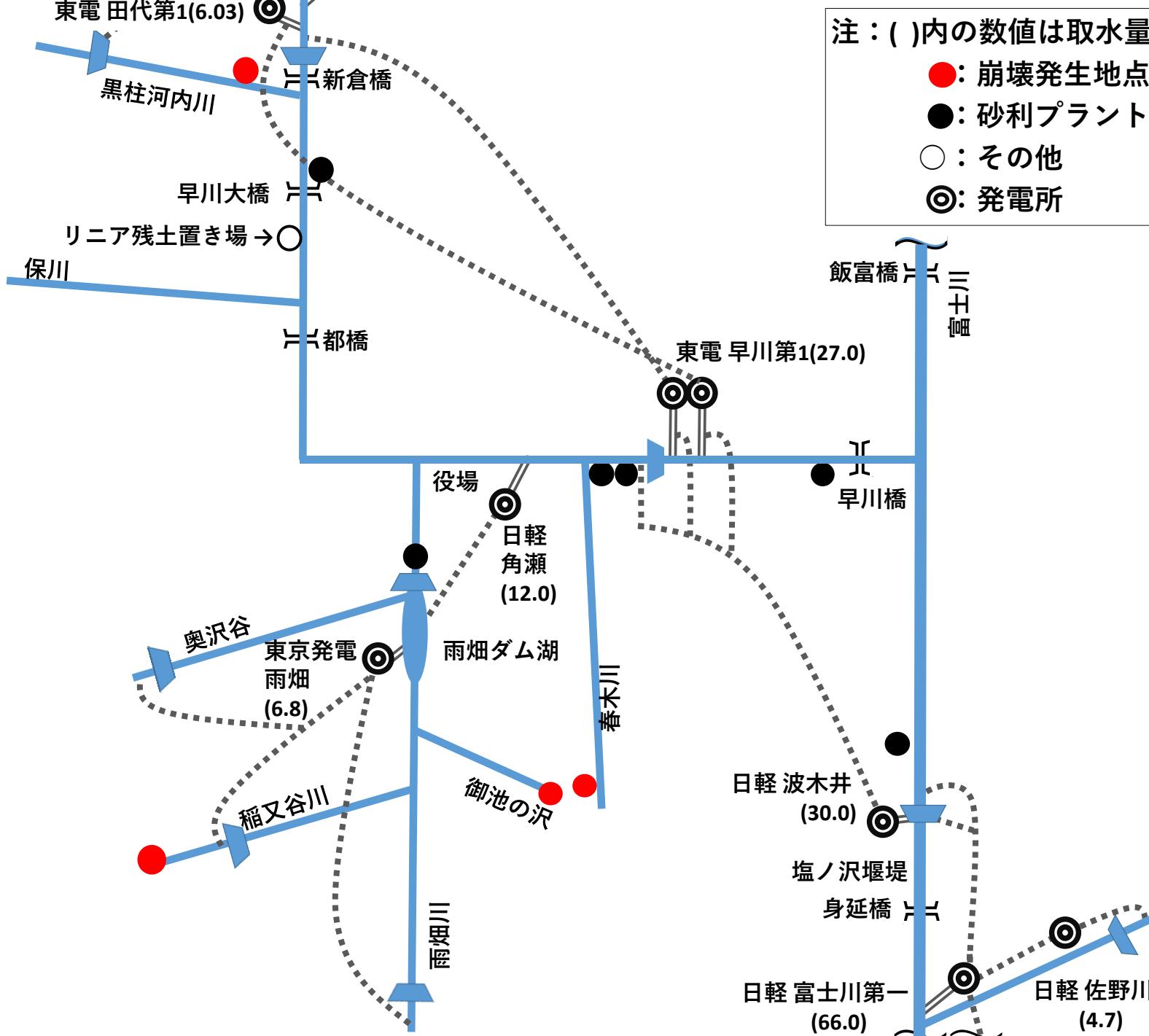
□：少し濁る

：濁る

■ : 泥濁り

× : 放水なし





注:()内の数値は取水量(m^3/sec)

●：崩壊発生地点

●：砂利プラント

○：その他

◎: 発電所

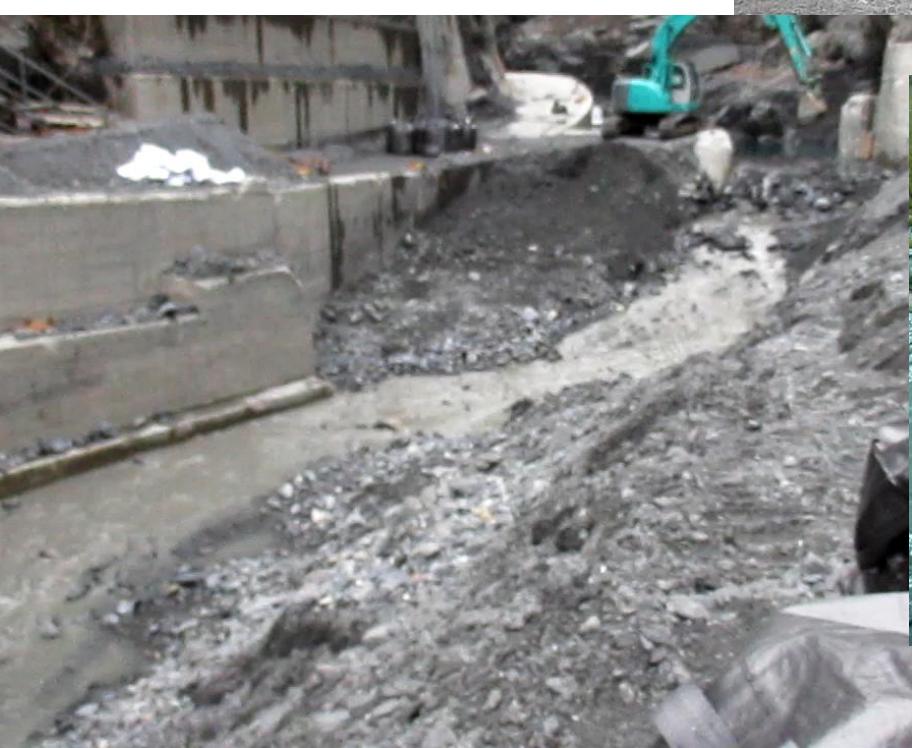
- 雨畠ダム湖内に土砂が異常堆積し、防災上危険。
- 雨畠川支流稻又谷川は濁りが継続。



- 各所の流路内作業で酷い濁りが発生。



- 各所の流路内作業で酷い濁りが発生。



早川

雨畠川



- ・ 増水していないのに濁るときがある。





複数の発電所で改修工事が実施されている。



- ・発電用取水の沈殿池から排砂が行われている。



・発電用ダムも排砂するときがある。



・ 碓河原に



・ 碓河原に突如、泥が堆積するときがある。



富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

- 濁りの発生状況
- 濁りの原因？

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

○ 濁りの原因は？

人為的要因

- 雨畠ダム：流路掘削・切替
- 河川改修：流路掘削、瀬回し
- ? 砂利採取：洗浄水及び洗浄汚泥の処理
- 発電用ダム・沈砂池：排砂
- △ 発電施設改修：H26～R3

自然的要因

(崩壊地 & 堆積土砂)

○：稻又谷川

- ：雨畠ダムの堆積土砂
- ×：春木川、黒柱河内川、御池の沢

● 魚への影響と人為的原因の究明

- 直接的：濁りの程度、頻度、継続時間
- 間接的：餌生物の減少・消失
- 成 分：濁り、泥、土砂、有害物質

濁り・流量とも場所・時間による変化が大きい。



人為的影響は、複数の要因が関与。

原因特定は困難で、定量化ほぼ不可能。

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

- 県漁連の考え方
- これまでの対応

5 現在の状況と今後の課題

● 県漁連としての考え方

- ・ 濁りの原因が自然現象の場合には対応困難だが、人為的原因へは対処すべき。

原因追及 → 現象改善

- ・ 濁りの状況を把握し、関係者と連携して改善を図る。

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

○ 県漁連の考え方

○ これまでの対応

5 現在の状況と今後の課題



これまでの対応

- 河川管理者との連携（県峡南建設事務所身延支所）
 - ・ 監視員による河川巡視の強化
 - ・ 漁業関係者と合同パトロール（砂利採取場、工事現場）
 - ・ 環境保全の講習会（砂利協同組合、建設業協会）





これまでの対応

- 河川管理者との連携（県峡南建設事務所身延支所）
 - ・ 河川巡視の強化
 - ・ 漁業関係者と合同パトロール（砂利採取場、工事現場）
 - ・ 環境保全の講習会（砂利協同組合、建設業協会）
- 関係者に対し次の事項を要請
(山梨県、国交省甲府河川国道事務所・富士川砂防事務所、砂利採取業者、日輕金)
 - ・ 潜り発生抑止
 - ・ 砂利洗浄汚泥の適正処分
 - ・ 環境再生の協議会
- これら活動をブログに掲載

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

○ 現在の状況

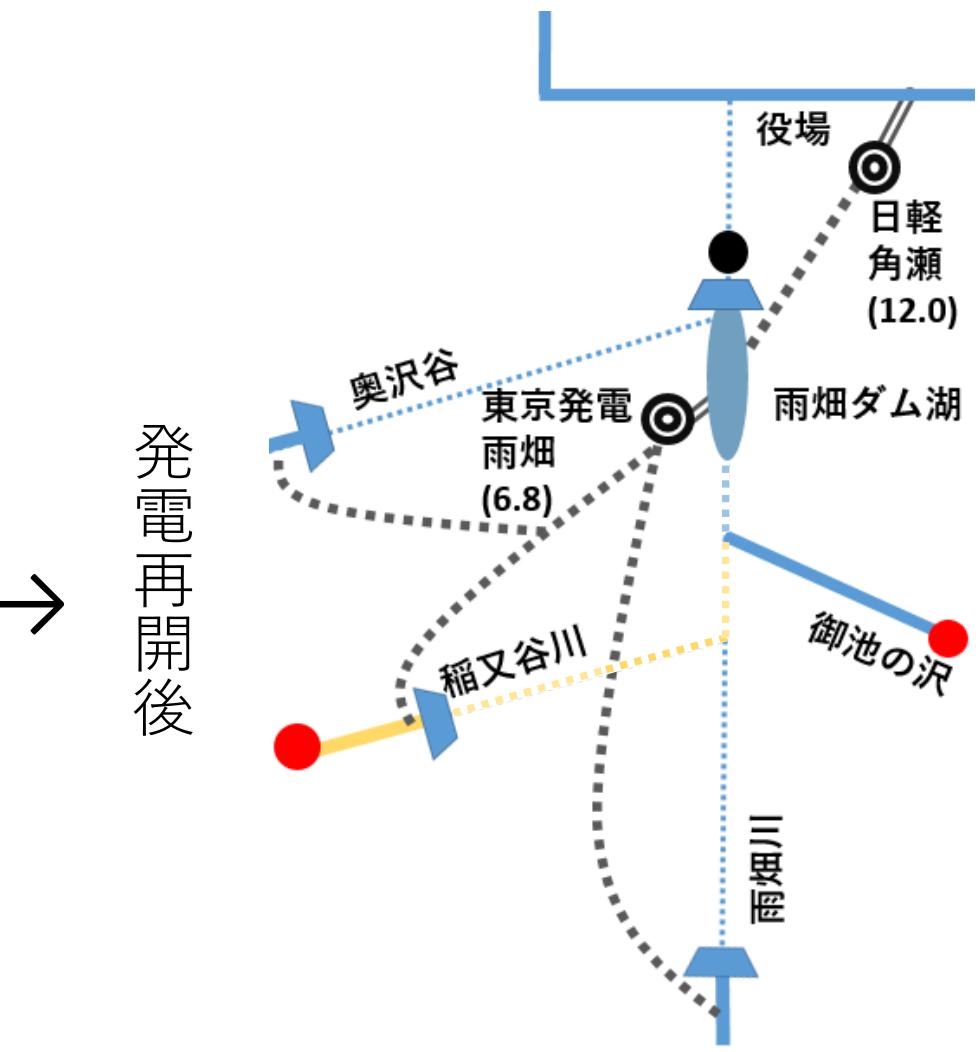
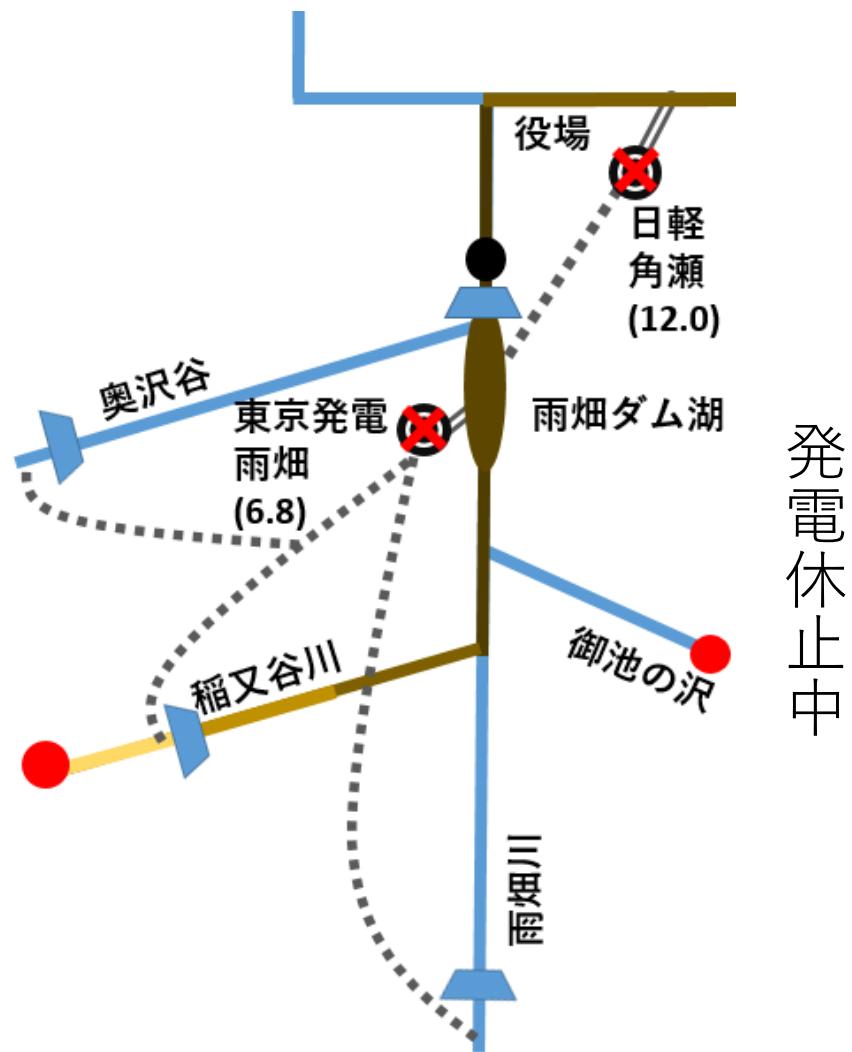
○ 今後の課題



現在の状況 I (濁りの状況)

○ 崩壊地

- 稻又谷川：取水再開。濁りの発生場所の流量激減。



富士川水系 雨畑川

2022/07/30 10:49

山梨県南巨摩郡早川町雨畑 稲又川橋

● 現在の状況 I (濁りの状況)

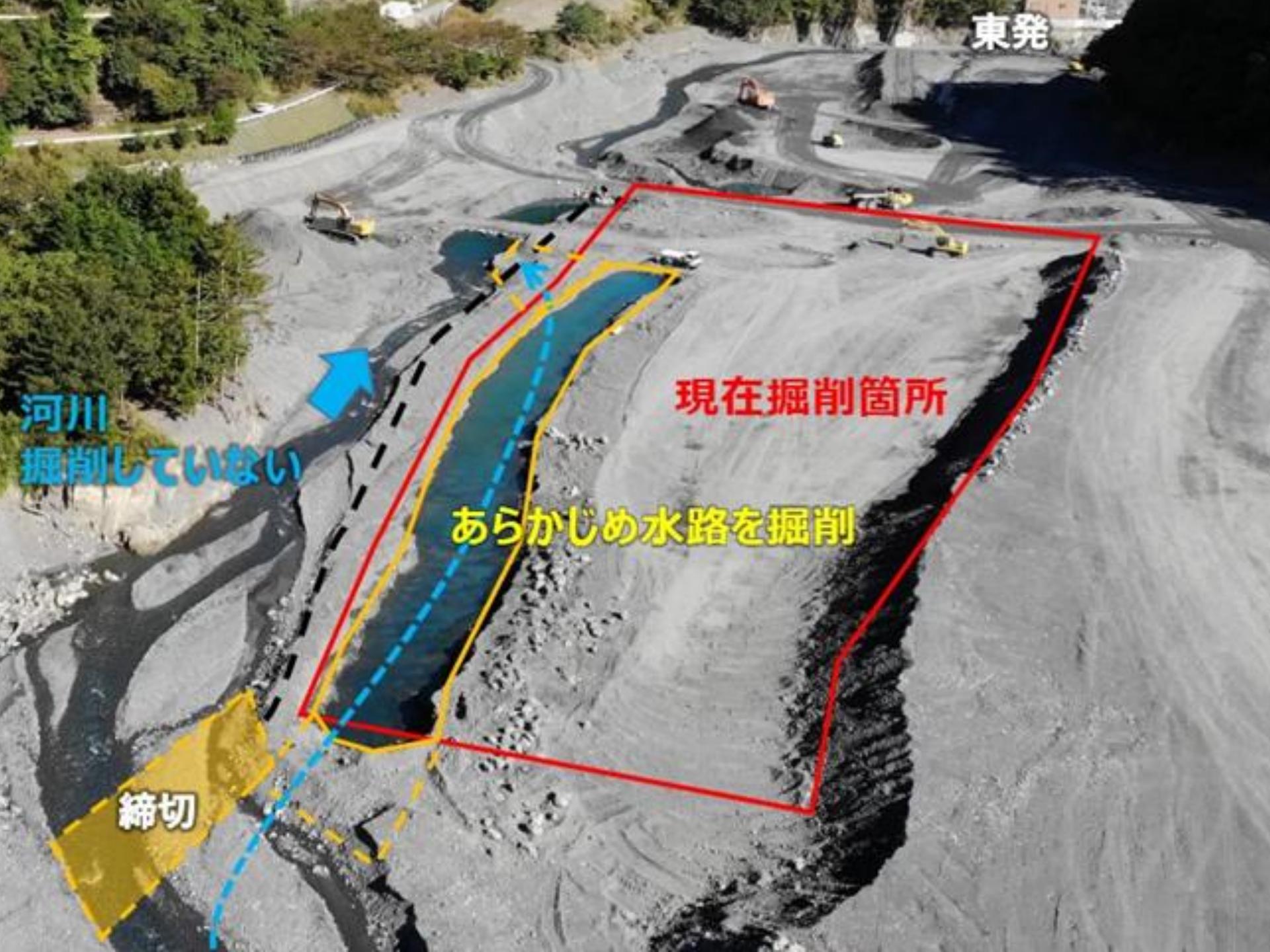
○ 崩壊地

- 稻又谷川：発電取水再開。
濁りの発生場所の流量激減。

○ 雨畠ダム

- 濁りが発生しないように作業工程を改善。
- 土砂搬出が進み、発電を再開。

東発



● 現在の状況Ⅰ（濁りの状況）

○ 崩壊地

- ・ 稲又谷川：発電取水再開。

濁りの発生場所の流量激減。

○ 雨畠ダム

- ・ 濁りが発生しないように作業工程を改善。
- ・ 土砂搬出が進み、発電を再開。

○ 発電・取水

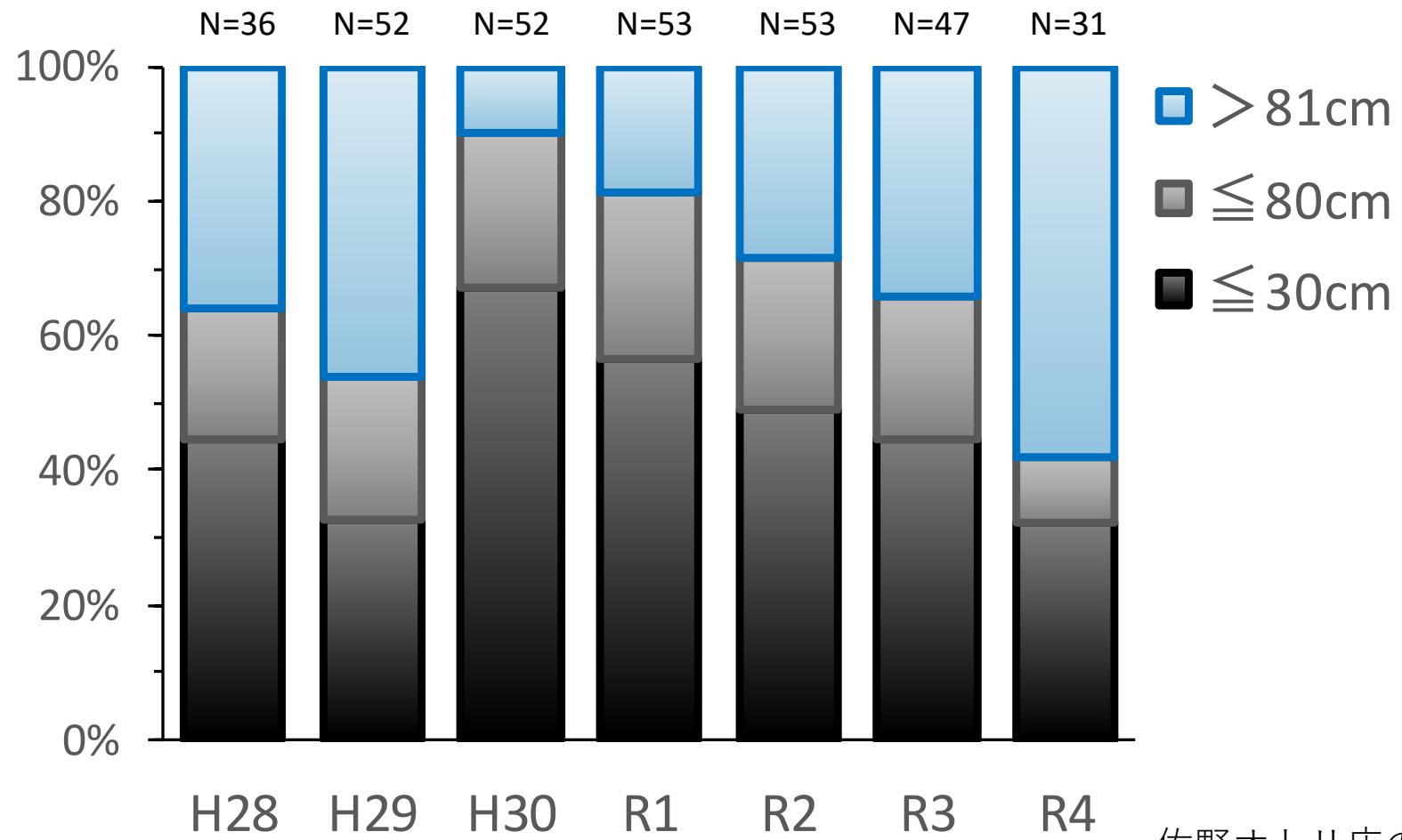
- ・ 施設の改修完了、発電再開。

● 現在の状況Ⅱ（改善の状況）

○ 濁り

- ・ 頻度と期間が、**かなり**減少。
- ・ 早川流域で約100mmの降雨があっても3日程度で澄む。
- ・ 早川で、急に泥が堆積する状況は、確認できなくなった。

富士川 富栄橋における透明度



佐野オトリ店の
データから作成

- R4は、大きな出水もなく、改善傾向。

● 現在の状況Ⅱ（改善の状況）

○ 濁り

- ・ 頻度と期間が、**かなり**減少。
- ・ 早川流域で約100mmの降雨があっても3日程度で澄む。
- ・ 早川で、急に泥が堆積する状況は、確認できなくなった。

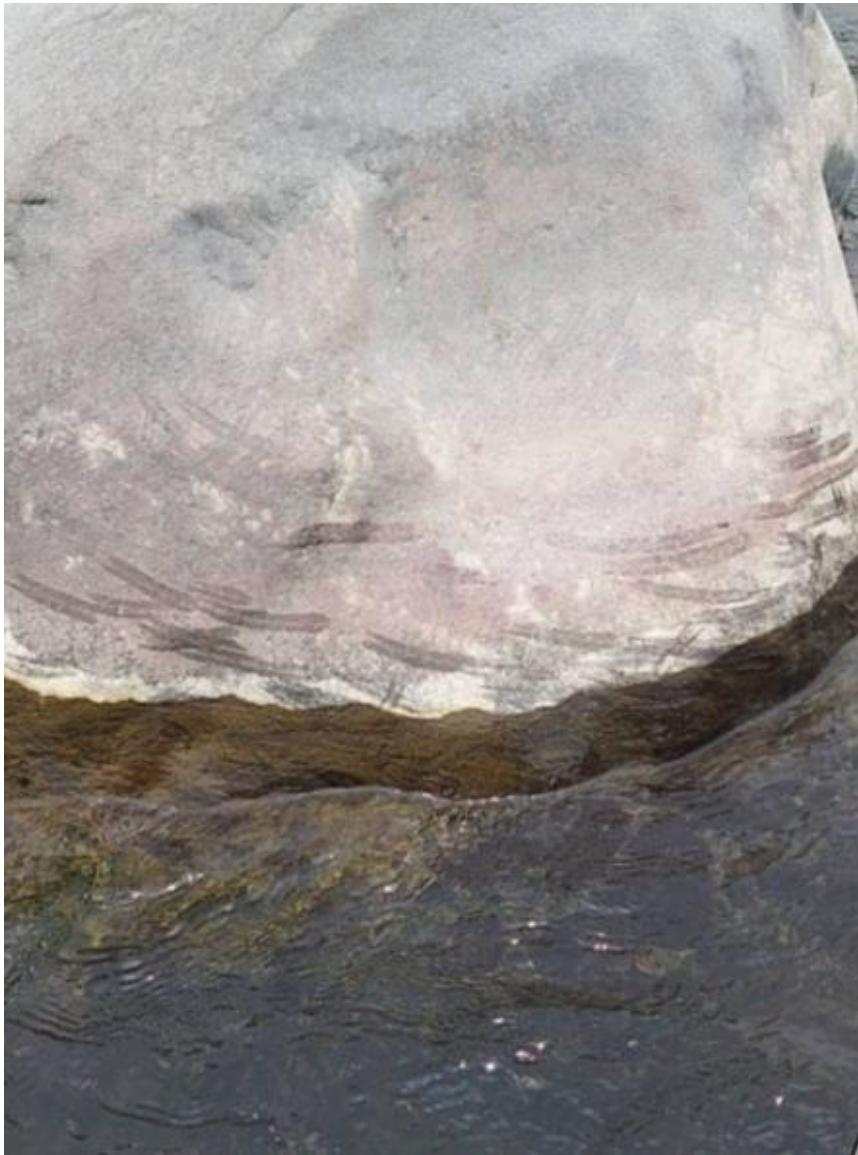
○ 水生昆虫

- ・ 早川本川下流で水生昆虫の現存量が増加。

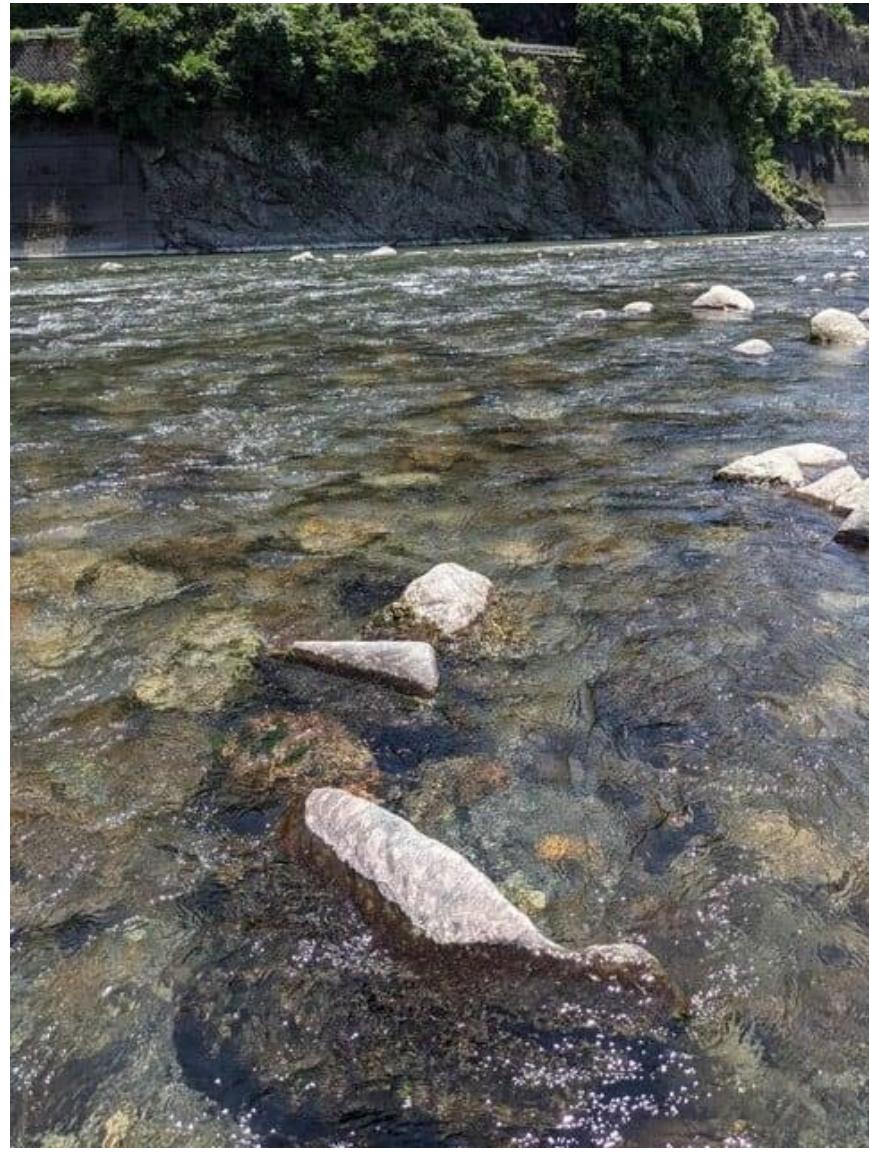
○ アユ

- ・ 天然遡上のアユが下流域でかなり確認。
- ・ 富士川本流で久しぶりにアユ釣りが行える状況。

● 現在の状況



6／20 富士川下流



6／27 富士川下流

引用：佐野おとり店 ブログ

現在の状況

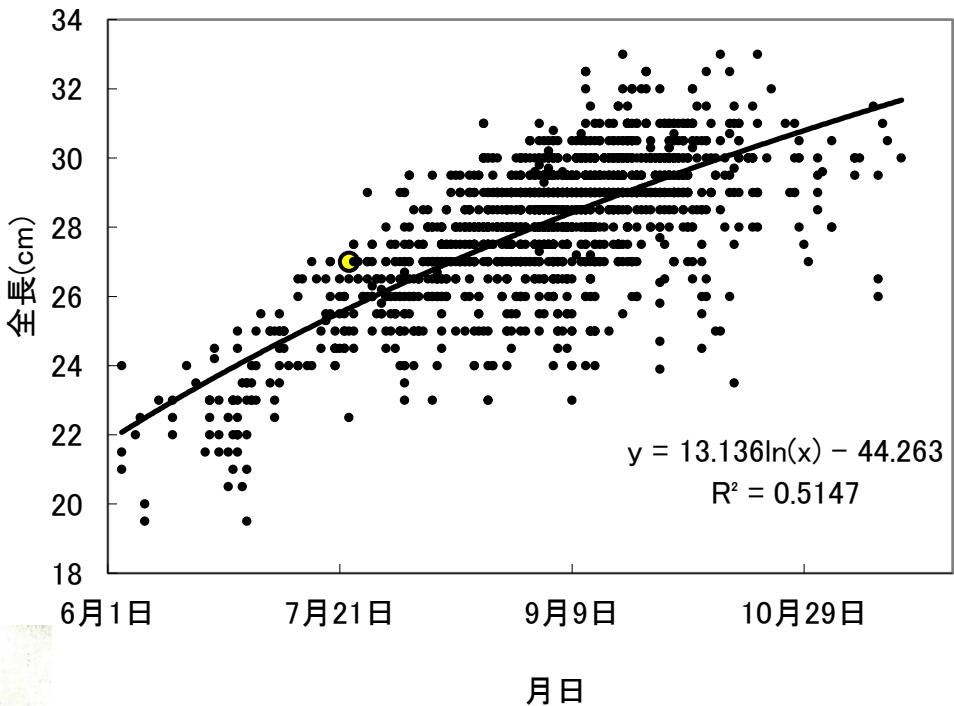


図 魚拓全長の変化

富士川の河川環境

1 富士川の特徴

2 経緯

3 状況の把握

4 濁りへの対応

5 現在の状況と今後の課題

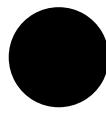
○ 現在の状況

○ 今後の課題

● 今後の課題

○ 富士川における水産的課題

- ・ 濁りによる生息環境悪化
- ・ 堤防による遡上阻害
- ・ 取水による生息場の減少
- ・ 砂の流下による淵の消失



今後の課題

○ 関係者との連携

- ・ 河川管理 : ①国 甲府河川国道事務所
②県 峠南建設事務所身延支所
- ・ 砂 防 : ①国 富士川砂防事務所
- ・ 廃 物 : ②県 林務環境事務所
- ・ 発 電 : ①国 甲府河川国道事務所
- ・ 水 質 : ②県 林務環境事務所
- ・ 水 産 : ②県 水産技術センター

- ・漁連の活動にご協力いただいた

県峡南建設事務所身延支所

富士川＆早川漁協

山梨大:岩田先生

県立大：箕浦先生

地球研の皆様

関係企業（砂利、発電、建設）

きっかけを作っていただいた静岡新聞

お礼

この活動を行って分かってきたことがある



今後の課題

- 水力発電・砂利採取

⇒ 町の重要な産業

⇒ 持続的発展

- 山腹崩壊・土砂堆積

⇒ 災害防止、環境保全

⇒ 流域土砂管理

- リニア建設残土

・・・・・

多くの課題に対処するためには

継続して流域の**関係者**が**協議**する仕組みが必要

身近な川から地球環境を考える

地球温暖化で芝川の水が消える？シラスが消える？

あなたが川に捨てたゴミはどこへ…

日 時: 7月30日(土)午後6時30分より

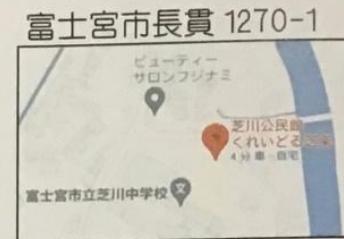
場 所: 芝川公民館くれいどる芝楽

主 催: 特定非営利活動法人 里やま芝川

連絡先: 里やま芝川理事長 電話 090-4082-5212(近藤)

入場無料

※コロナ感染症対策の徹底を図ります。当日体調の悪い方は恐れ入れいりますがご遠慮願います。



行政組織とも連係した
流域ガバナンスの構築が望まれる

令和4年 7月30日 土曜日

アユ戻る環境に

の静岡新聞

方針 水枯れ改善へ

河川環境について、国
可川維持流量」を設定す